

平成29年度 鶴見区の主な取組みの方向性



現 状

・年少人口（15歳未満）の割合が高く、安心して子どもを産み育てられる子育て・保育環境の整備が重要であるが、現状では子育てに対する不安感・負担感が見られ、児童虐待の相談件数も多く、保育ニーズも高い状況にある。

・子ども・青少年の健全な育成に向けた取り組みが重要となっている。

課 題

・安心して子どもを産み育てられる環境づくりには、地域・関係機関との連携を推進する必要がある。

・児童虐待防止に向け、関係機関と連携を図るとともに、啓発活動を推進する必要がある。

・保育ニーズの高まりに対しては、関係局と連携し、保育環境の充実に努める必要がある。

・次世代を担う子ども・青少年が、将来への夢をふくらませ、健やかに成長できるよう、家庭・学校・地域が連携を図り、継続的に取り組む必要がある。

29年度の方組みの方向性

○安心して子育てできる環境づくり

- ・子育て層の交流の場の設定など、子育て支援施策を実施する。
- ・関係先と連携し児童虐待ケースに対応するとともに、児童虐待の早期発見と防止のため、啓発活動に取り組む。
- ・保育ニーズを勘案し、関係局と連携を図りながら、保育環境の整備に努め、待機児童の解消に取り組む。

○教育支援

- ・保護者や地域の意見やニーズを聞きながら、区の特性や地域の実情に即した教育活動の展開や学校への支援を図る。
- ・学校ニーズに沿ったきめ細やかな支援を行っていくために、学校との情報共有や意見交換を行い、必要な支援を行っていく。
- ・関係機関と連携を図り、小・中・高校生の興味がある体験事業の機会を提供していくことで、学校と社会の結びつきを充実させていく。

○子ども・青少年の健全育成

- ・鶴見区青少年育成推進会議を中心に、学校・家庭が連携し青少年の非行防止啓発活動に取り組む。
- ・歌やダンス等の活動をしている区内高校生や青少年グループに、日頃の活動成果を発表する機会を提供し、青少年健全育成の方組みを推進する。

29年度考えられる方組み

○安心して子育てできる環境づくり

- ・「愛Loveこどもフェスタ」の開催
- ・「つるみっ子ルーム」の利用率向上
- ・地域団体等と連携した、年間を通じた児童虐待防止啓発活動の実施
- ・児童虐待防止のための講演会等の開催
- ・関係局との保育ニーズ検討会議の実施
- ・保育環境の充実に向けた保育施設への働きかけを実施

○教育支援

- ・区政会議こども・教育部会（3回）、教育行政連絡会（小・中学校各学期1回）、学校協議会（市立幼稚園・小・中・高校（20校園）各学期1回）、校長会・教頭会への参画、小・中学校への訪問等による情報共有や意見交換
- ・校長経営戦略支援予算を活用した小・中学校の支援（H29年度からの小学校英語教育の本格実施に向けた英語教育支援や、教育活動におけるサポートなど）
- ・学校でのニーズが高い発達障がいサポートの充実
- ・青少年「夢・未来」講座の拡充（学校への出前授業）

○子ども・青少年の健全育成

- ・高校軽音ライブクリーンプロジェクトの生徒数（参加校）の増員
- ・青少年カーニバル
- ・青少年健全育成鶴見区民大会
- ・こども環境ととのえ隊

今後の鶴見区運営方針・予算のスケジュール

平成28年				平成29年	
9月下旬	11月初旬	11月中旬	12月初旬	2月中下旬	3月下旬
鶴見区主な事業の取組の方向性の説明 (各部会)	鶴見区運営方針(素案)についての 説明及び意見聴取 (各部会)	鶴見区運営方針(素案)作成 予算要求調書提出	鶴見区運営方針(素案)に対する 各部会での報告及び意見聴取 (全体会)	鶴見区運営方針(素案)予算案説明 (全体会)	市会で審議 鶴見区運営方針予算確定